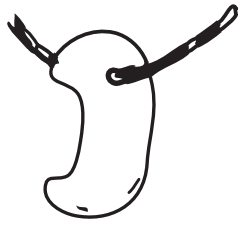


# 蓮田の昔を 考えてみよう②

こたえ

①



このような かたちの <sup>いし</sup>石を  
<sup>たま</sup>「まが玉」といいます。<sup>じょうもんじだい</sup>縄文時代から  
<sup>こふん</sup>古墳時代まで <sup>つく</sup>よく作られた アク  
セサリーです。

②は「石さじ」（縄文時代のナイフ）

③は「クリスマスリース」です。

①



<sup>て</sup>「手あぶりがた<sup>どき</sup>土器」といいます。な  
かに <sup>ひ</sup>火を ともして  
あかり にしました。

おまつりや <sup>かみ</sup>神さまに おいのり  
する ときに つかいました。



②



縄文時代の 人びとは <sup>たてあなしきじゅうきょ</sup>「竪穴式住居」と  
<sup>よ</sup>呼ばれる家<sup>いえ</sup>に <sup>す</sup>住んでいました。

家の中のイメージ



家の中で火をつ  
かっているのね！

